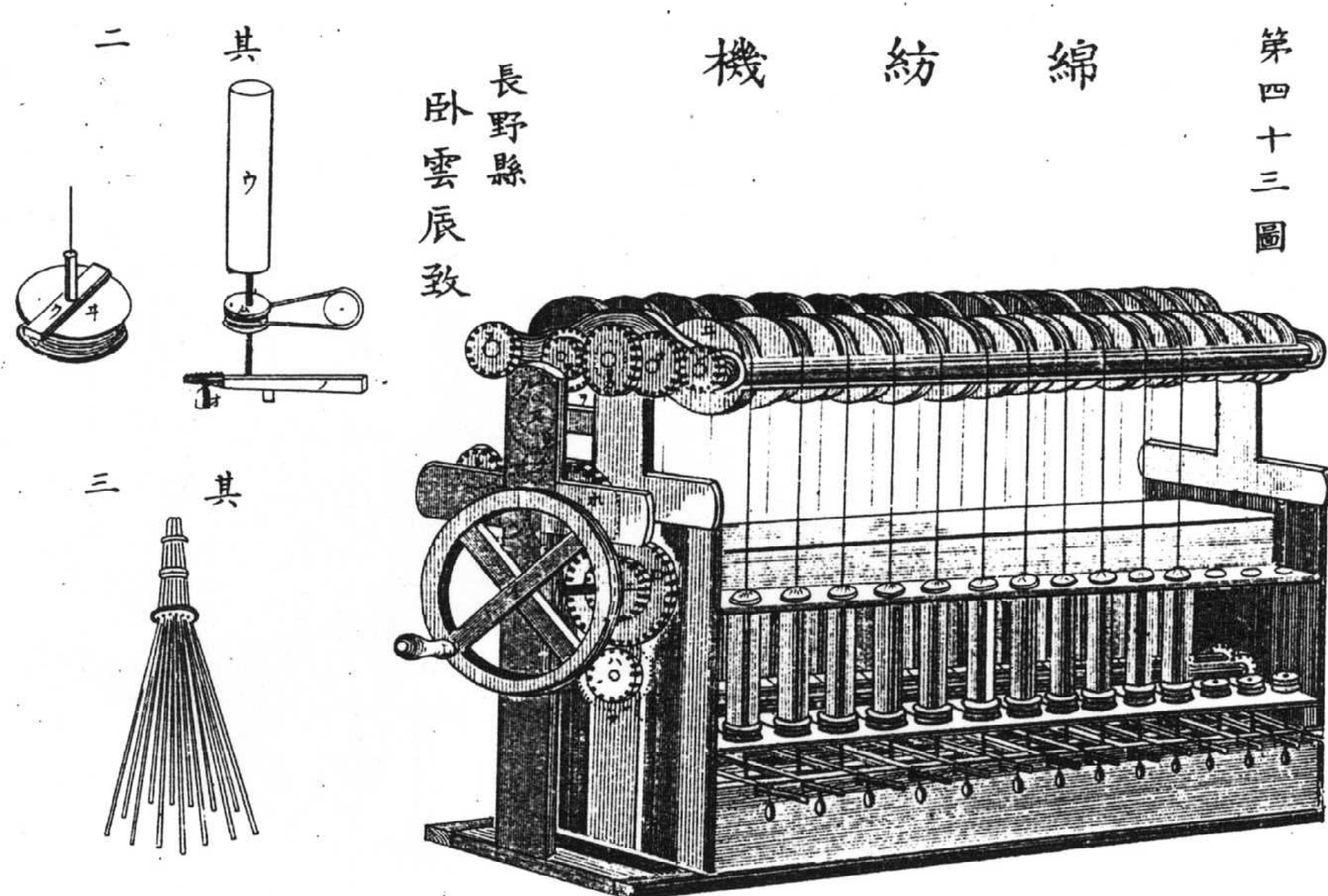
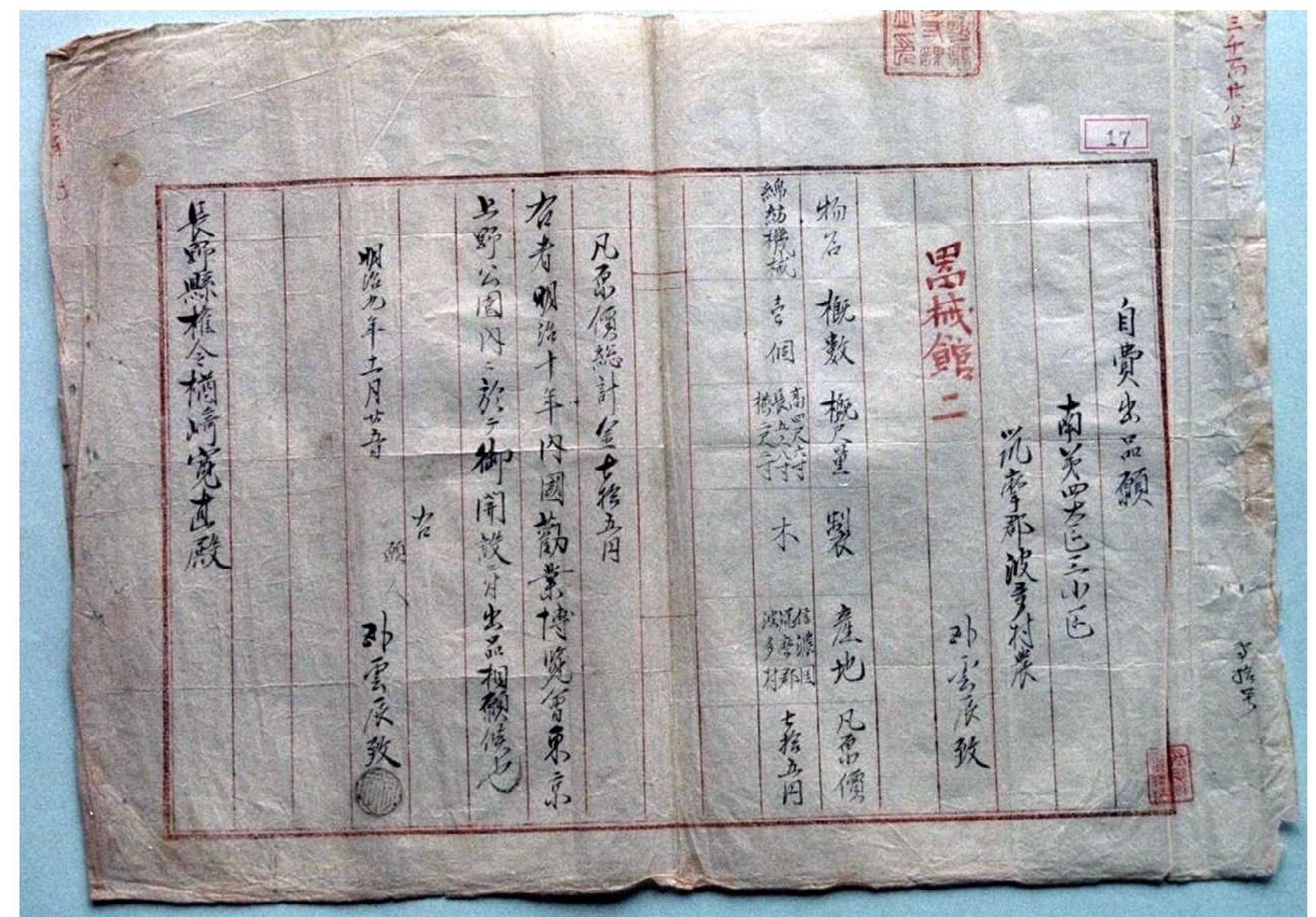


臥雲辰致と綿紡機

明治10年(1877)、東京、上野公園で開催された第一回内国勸業博覧会に、臥雲辰致^{がうん たつち}は、綿紡機と称する画期的な綿糸紡績機を出品、本会第一の発明と絶賛された。この技術はいち早く三河にも伝えられた。臥雲の綿紡機は後にガラ紡績機と呼ばれ、矢作川流域に普及した。



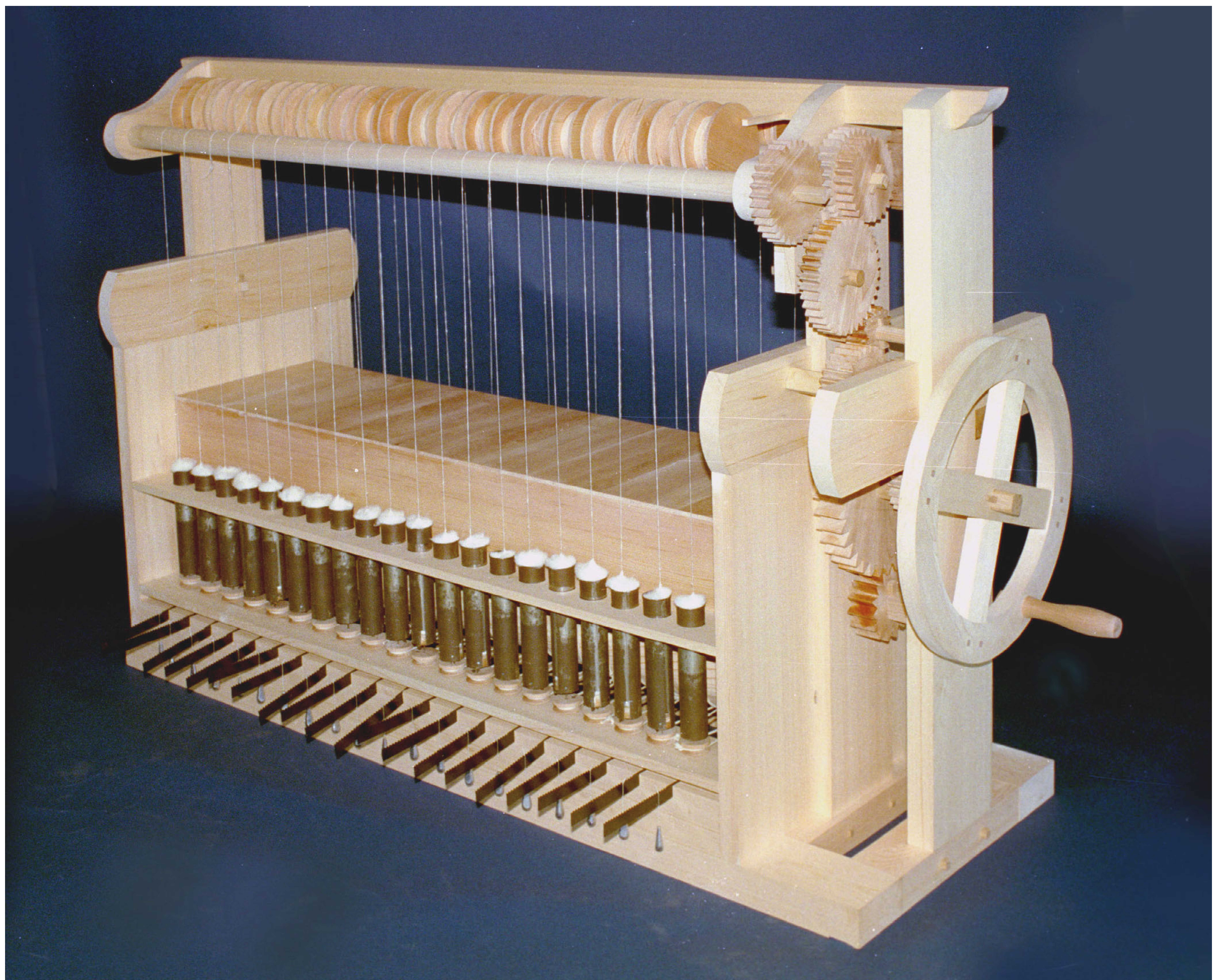
第一回内国勸業博覧会出品解説



長野県令宛、第一回内国勸業博覧会への出品願

臥雲の出品願には機械の大きさが書かれている。

高さ：4尺6寸、長さ：5尺8寸、横幅：2尺2寸



臥雲辰致が第一回内国勸業博覧会に出品した綿紡機の復元機（安城市歴史博物館蔵）

復元機的设计：石田正治、製作：(有) ^{さつた}颯田木型・颯田良二、1994年4月製作